

富山県消費者協会・消費生活研究グループ連絡協議会
2026年度 活動目標

持続可能な社会の実現をめざして！
～安全・安心で豊かな消費生活～

安全で安心できる心豊かな生活の確保

- ◆ 食品表示の確認などにより、食の安全を守ろう
- ◆ 自然や文化と積極的にふれあって、地域も人も元気にしよう
- ◆ 災害への備えや地域防災活動の輪を広げよう

協会SDGs宣言に基づく取組みの推進
～エシカル消費(倫理的消費)の推進拡大～

- ◆ エシカル消費(※1)の理解を広めよう
- ◆ フードドライブ(※2)の活用などにより、食品ロスの削減を進めよう
- ◆ 家庭ごみの削減、宅配便の再配達防止、節電・節水など、“デコ活”(※3)に取り組み、エコライフを推進しよう
- ◆ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)(※4)の習慣を身につけよう
- ◆ 地産地消や被災地の応援消費などで地域を活性化しよう

消費者被害防止の強化

- ◆ SNSなどインターネットを正しい知識と判断で安全に利用しよう
- ◆ 高齢者など配慮を要する消費者を地域で見守り助け合おう
- ◆ 悪質商法やネット詐欺、特殊詐欺等の被害に遭わないよう、消費者力を高めよう

(※1) エシカル消費(倫理的消費)とは、人や社会、地域、環境に配慮した消費のこと

(※2) フードドライブとは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動のこと

(※3) デコ活とは、脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を組み合わせた活動・生活を表す造語で、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」の愛称

(※4) 3RとはReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称で、リデュースはごみの発生を抑制、リユースは製品や部品等を再使用、リサイクルは原材料やエネルギー源として再利用すること